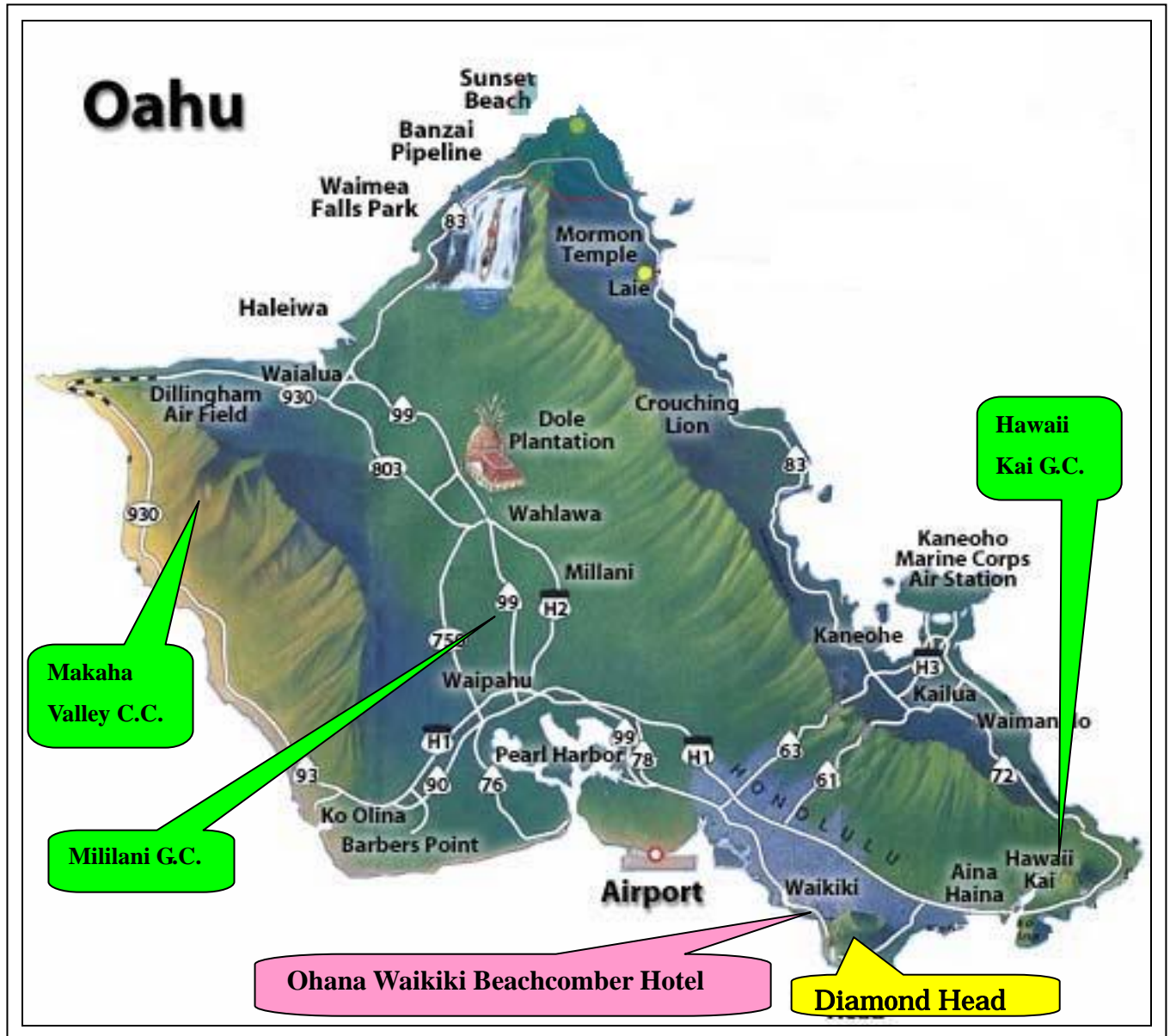




ハワイ・オアフ島

2009年の3月初め、スギ花粉舞う日本を脱出し、妻と二人でハワイへ旅行した。航空券、ホテル、レンタカー、ゴルフ場をインターネットで予約し、目指すはハワイ・オアフ島、7泊9日の旅である。



3月6日(晴れ)  成田  ホノルル

ユナイテッド航空のカウンターでeチケットを提示し、搭乗手続きをする。ゴルフバッグのエクストラ料金はかからなかったが、機内のビールは有料(\$6)なので、搭乗前にキオスクで購入する。ドルへの換金は市中銀行より良いレートの空港公団換金所を利用する。




定刻 19:25 に離陸した機は 7 時間弱の飛行を続け、朝 7 時、ホノルル空港に着陸する。空港でレンタカーを借りる。慣れない外車、左ハンドル、右側通行、フィリピンで経験はあるがワイキキのホテル（オハナ ワイキキ ビーチコマー）に着くまではヒヤヒヤだった。ホテルで休養し、時差ぼけを解消したあと、周辺を散策する。ホテルの隣にインターナショナル・マーケットがあり買い物は便利、フードセンターではハワイアンバンドの演奏とフラダンスを楽しみながら手軽に食事ができる。ABC ストアの缶ビールが \$ 1 なのも嬉しい。



オハナ ワイキキ ビーチコマー



ホテルの部屋から海が少し見える

3月7日 (曇り)  マカハヴァレーG.C.  

朝食後、H1 フリーウェイを西進、3~6車線の高速道路を走り抜け、93号線を北上する。海岸沿いの道は車も少なく快適なドライブである。迷いながらも1時間半ほどでマカハヴァレーG.C. に到着する。マカハ渓谷の谷間に広がる雄大なコースで、青い海が眺望できるレイアウトである。しかし、ボールの行方は定まらず、景色を楽しむ余裕はない。雨が時々降る天気となったが、ハワイでの第一ラウンドを終える。



3月8日 (晴れ)



ダイヤモンドヘッド



今日は日曜日、オアフ島の観光に出掛ける。15分ほどのドライブでダイヤモンドヘッドの駐車場に到着する。初めは緩やかな登りだが、だんだん傾斜が急になり、汗を拭いながら30分ほどで頂上に立つ。ワイキキ海岸や山々が素晴らしい。



ダイヤモンドヘッドを下山し、H1フリーウェイを東進、E・プレスリーの「ブルーハワイ」が撮影されたハナウマ湾に向かう。しかし、駐車場が満車で入湾できない。仕方がないので、天気がよければモロカイ島、運がよければ鯨が見えるという展望台に車を走らせる。残念ながら島も鯨も見れなかった。昨日ゴルフ場で見たかわいい鳥がいたので、パンくずでおびき寄せパチリ。帰途、ココ・マリーナ・ショッピングセンターで昼食をとり、ホテルに戻る。18時、予約しておいた「フラ・グリル・ワイキキ」というビーチ際のレストランへ行く。「マヒマヒ」という名の魚料理とステーキを注文し、カリフォルニアワインで乾杯。周りは夜のワイキキを楽しむ人たちで賑わっていた。



3月9日 (晴れ)



ミリラニ G.C.



ゆっくりと朝食をとり、インターネットで予約したミリラニ G.C.に向かう。H1フリーウェイを西進し、H2を経てオアフ島の真ん中を走る。ワイキキから約40分のドライブで到着。このコースはオアフ島の中心、ミリラニの閑静な住宅街の中にある。午後のティーオフなので、プレー代は割安(\$60)であるが、ショットを曲げて、住宅に打ち込むと大変である。プロショップでエントリーすると、いつでもスタートOKという。11時30分ティーオフする。

ノーフォーク杉やユーカリなどでセパレートされた林間コースで、ほぼフラットなフェアウェイのホールが続く。電動カートフェアウェイに乗り入れても OK なので相棒と二人、気ままにゴルフを楽しむことが出来た。



ノーフォーク杉



ワイキキは夜も楽しい。ホテル前のカラカウア通りを歩くと、マッサージ、刺青、似顔絵などを商う人、音楽やパントマイムを演じる人、それらを楽しむ観光客であふれている。新聞紙で作ったスーツ姿のペーパーマンとのツーショットもよい思い出になった。



3月10日 (晴れ) 🌞🌴 🚗 🏌️‍♂️ ハワイカイ G.C.

ワイキキからダイヤモンドヘッドの麓を通り、オアフ島の東にあるゴルフコースに向かう。約40分のドライブでサンディビーチ際のハワイカイ G.C.に到着する。フラットな美しいコースであるが、風は強い。今日こそは！と念じてティーショット。9時過ぎにスタートし、18番ホールをD・ボギーであがり、午後2時にゴルフ場を後にする。





72号線を北上しマカプウ岬でマナナ島（ラビット・アイランド）の眺望を楽しみながら昼食をとる。カイルア・ビーチパークに立ち寄り、61号線を30分ほど山中ドライブし、ワイキキに戻る。「とってもアメリカンなビュッフェレストラン」と現地の雑誌に載っていた「ペリーズ・スモーギー」で夕食。ABCストアで仕入れたビールを持ち込み、とってもリーズナブルな値段と味に満足、満腹の1日となった。



ラビット・アイランド



3月11日（晴れ） ハナウマ湾  ハワイカイ G.C.

今日は早起きして、8日(日曜日)に入れなかったハナウマ湾へ向かう。今日もよい天気である。\$5の入湾料を払い、湾への心得を紹介するVTRを見る。魚に餌をやるな、珊瑚を踏むな、などなど、もちろん全域禁煙である。シュノーケリングを楽しむ人が多いが、われわれは膝までの水遊び。足下まで挨拶に来てくれる魚君たちと遊んだあと、昨日予約したハワイカイ G.C. へと向かう。



ミシガンから来たカーティス夫妻と一緒にプレーする。下手な英語とゴルフだが、楽しいラウンドになった。昨日と変わらぬスコアーだが、ハワイでの最後のホールをパーで収め満足する。



3月12日 (晴れ)



真珠湾



パンチボウル

天気がよいので真珠湾のアリゾナ記念館に出かけた。アメリカ本土から来た観光客が多く、ほかの観光地に比べ日本人は少ない。第2次世界大戦の経緯と真珠湾攻撃の映画を見たあと、シャトル・フェリーに乗り、撃沈された戦艦アリゾナをまたぐ形で建てられた記念館に向かう。入館料やフェリーは無料である。中央の窓から海面上に突き出た砲台が見え、67年を経た今も燃料の重油が漏れており、海面に油膜が漂う。戦艦アリゾナ上で戦死した1177名の名前が刻まれた大理石の壁に合掌し、帰りのフェリーに乗込んだ。



アリゾナ記念館



戦艦アリゾナの砲台

ホテルへの帰途、国立太平洋記念墓地であるパンチボウルを訪れた。ここには第2次世界大戦やベトナム戦争などで戦死した2万人以上の軍人が埋葬されている。展望台には日本軍の捕虜となり、タイ・ビルマ鉄道の建設で死亡した軍人の記念碑がある。映画「戦場にかける橋」のシーンが目につく。今日は敬虔な気持ちで、歴史を振り返る一日となった。



パンチボウル展望台よりダイヤモンドヘッドを望む

3月13日 (晴れ)  ホノルル  成田

常夏の国、ハワイとお別れである。朝食のあとワイキキの浜を散歩し、ダイヤモンドヘッドに SAYONARA を言って、ホノルル空港に向かう。空港でレンタカーを返し、ユナイテッド航空のカウンターへ行く。しかし誰もいない。搭乗手続きがわからない。あわてない、あせらないと自分に言い聞かせ、近くにいたポーターのおっさんに聞く。どうも自動発券のようだ。おっさんが我々のパスポートをスキャンし、必要な情報を入力すると搭乗券が出てきた。荷物のチェックインも手伝ってくれた。おっさん、有難う！ チップの5ドルを手にし幸せそうなおっさんに見送られ搭乗ゲートへ向かった。

好天に恵まれた4ラウンドのゴルフは400を少し切る結果に終わったが、ハワイでの7日間を満喫し、ホノルル空港を飛び立った。

成田空港に着陸すると3月14日の夕方になっていた。